



船引小学校だより



【教育目標】
思いやりのある子ども
よく考えてしっかり学ぶ子ども
進んでからだをきたえる子ども

平成30年7月20日
田村市立船引小学校
発行責任者
校長 有賀 仁一

夏休み前72日間を ふり返って!

37日間の夏休み(7/21~8/26)に入ります!

～ 保護者・地域の皆様のご支援・ご協力

真にありがとうございました! ～

4月本校に着任して、3ヶ月半以上の月日があっという間に過ぎました。3分の1の教職員が入れ替わるとともに、児童数は変わらないのに2学級減・教職員が8名減という逆境の中で、それには負けず、これまでの本校の取組のよさを継承しながら、それぞれの教職員のよさを生かした教育活動の充実に努めて参りました。

この間の、PTA活動を中心とした保護者の皆様の惜しみない献身的なご協力と、学校支援地域本部等を中心とした地域の皆様の安全・安心の見守りと学校教育活動への参画のお陰で、教職員だけではできない教育活動の幅の広さ・充実ぶりを後押ししていただけていると感じています。皆様のご支援・ご協力、本当にありがとうございます。

本校教育活動の充実ぶりは一目瞭然!

～ 4月からのHPアクセス数が9万件を突破(7/12)! ～

692名の児童が在籍している本校では、日々様々な出来事が起こっています。児童同士のトラブル・いたずらによる地域への迷惑・下校時に道草を食っての行方探し・病気や負傷事故への対応等、数え上げたら枚挙に暇がありません。しかし、これらが大きなトラブルにまでは発展せず、収束できているのは、その都度、迅速・誠実に、組織的に対応している結果であり、保護者・地域の皆様のご理解とご協力のお蔭だと感じています。成長過程にある子どもたちの様々な言動・行動に、今後とも皆様の温かいご理解とご指導をいただければ幸いです。

加えて、これを支えているのが本校教職員の充実した教育活動であり、これまで何度も書いてきましたが、子どもたちの生き生きした姿をほぼリアルタイムで公開している本校HPの効果だと感じています。4月からの総アクセス数が、本日20日で10万件を突破する勢いです。全ての保護者の皆様が毎日見ていると仮定して単純計算すると、1日最低2回以上はアクセスしていることとなります。すごいことです!

子どもと活動し、子どもを知る!

～ 修学旅行(6年)、宿泊学習(5年)に同行してきました! ～

歳のせいもあると思いますが、子どもの顔と名前がなかなか覚えられなくなってきて困っています。これを解決する手立ての一つが子どもたちと一緒に活動や寝食を共にすることです。写真は6年生との日新館や武家屋敷での活動の様子と、5年生との茶臼岳登山・野外炊飯の様子です。9月は、4年生との宿泊学習があり楽しみにしています。



美しい学校環境で学ばせたい！

～ ついに、校舎屋根の長い草を除去しました！ ～

“環境が人を創る”環境には人的・物的なものがありますが、着任以来どうにも我慢できなかつたのが、本校校舎屋根に長年生え続けている葦です。自ら除去しようとしたのですが、危険だからと止められ、今回市教委で対応してくださいました。これで、原因不明の雨漏りも解決するのではないかと期待しています。

“学校は美しい環境でありたい”というのが私自身の強い思いであり願いです。
8月25日（土）には、第2回のPTA奉仕作業が予定されています。第1・2学年保護者の皆様、子どもたちのためにどうぞよろしくお願いいたします。



盆休みに家に帰れたみんないた
大声ではしゃぐ息子に
母 小学六年生

おめでとう あわてゴジシ
ありがとう あささそり 二度洗い
母 小学一年生

“17字のふれあい”に、ぜひご参加ください！

～ 家族の“絆”を深めるひとつのきっかけに！ ～

別紙プリントでもお願いしていますが、できるだけ多くの皆様に、ご参加いただければ幸いです。これは県教委の事業で、「家族の“絆”を深めるのに効果がある」と評され、平成14年度から続いているものです。

お父さんと子ども、お母さんと子ども、おじいちゃんと子ども、おばあちゃんと子どもなど、様々な組み合わせが可能です。家族の生活の一場面を2人の掛け合いで“17字”に表現してみるのも悪くないことです。

かつて、募集する立場にあったこともあり、ぜひ“船引小学校”からも多くの応募ができ、家族の絆を深めるきっかけとなってくれればと願っています。どうぞよろしくお願いいたします！左は、昨年度の最優秀作品です

スクール・サポート・スタッフが配置されました！

～ 教員の事務負担軽減・子どもと向き合う時間確保のために！ ～

紹介が遅れましたが、先月4日（月）から教員の事務負担軽減・子どもと向き合う時間確保のために、県教委から非常勤職員を配置していただきました。教職員減の厳しい状況をご理解いただいての配慮と感謝しています。

さんです。職員室で学習プリントや文書の印刷、調査の集計など様々なサポートをしていただいています。何でも快くやってくくださる方で先生方はたいへん助かっています。どうぞよろしくお願いいたします。



夏休み前72日間をふり返って！(Part2)

校長の自己評価!?

～ 教職員人事評価制度をふまえて ～

今は、一般企業でも人事評価が当たり前の時代になってきていますが、教育界においても同じように制度化され実施しています。校長も当然、自己目標を掲げよりよい学校経営に努めています。そのいくつかについて紹介しながら、途中経過についておおまかな自己評価をしてみます。

- 教育目標の具現に向けて具体的な内容・方法を、教職員が共有できるように工夫し、「チーム学校」として充実した教育活動を展開する。
 - 本校教育の流れを尊重しながら、教員一人ひとりのよさを生かした教育活動ができる職場環境を整えるよう努めているところです。おおむね具現できていると考えています。
- 教職員多忙化解消アクションプランに基づき、時間外勤務時間30%削減が達成できるよう、業務内容の見直しや働き方改革を具体的に指導する。
 - ノー残業デーを設けたかったのですが、本校のこれまでの流れを知らなければ知るほど具現できずにここまで来てしまいました。超勤の月平均60時間以下の達成と超勤月80時間以上を無くすために、未配置教職員の人材確保に努めましたが、まだまだ不十分です。
- 教職員の資質・指導力の向上を図り、児童の学力向上を具現する。
 - すでに教職員の8割方が授業研究に臨み、その都度、外部の指導助言者を招聘して多様な視点から指導を仰ぎ、授業改善に生かしているところです。成果にご期待ください。
- 全校児童無欠席の日10日間を目指す（が、まずは欠席者数1桁の日20日を達成する）。
 - 先生方の力で行く楽しみがある学校づくりに努め、不登校児0人と、欠席者数1桁の日54日（全授業日の75%）を達成しました。全校児童692名ですばらしい結果だと思っています。みんなの力で、今年度、全校児童無欠席の日を1日でも具現できたら幸いです。